



企業の環境課題解決
チーム・スター最優秀
名市大で成果発表会

企業の環境課題の解決策を、学生と企業がともに考える「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の成果発

表会が二日、名古屋市立大（同市瑞穂区）で開かれた。学生四人一組の計十チームが発表し、コーヒーチェーン店の課題を研究したチーム・スターバックスが写真が最優秀賞となった。

県が主催し、今年で四回目。県内二十一大学の学生でつくる十チームは六月から、自動車関連会社や住宅メーカーなど十社から出された研究課題の解決法を研究してきた。

チーム・スターバックスが取り組んだ課題は「自社の社会貢献活動に共感する仲間を増やす」。学生らは、来店者にカードを配って活動への思いを書いてもらうことや店内でトークイベントを開くことを提案した。

受賞の理由には「すぐに実施できる具体性」が挙げられた。リーダーの愛知教育大三年、永田海成さんは「学生間で意見の擦り合わせに苦労したが、受賞できて良かった」と話した。